

有機農業技術のつぼ

作物名	かぼちゃ
対応技術の項目	その他
	栽培改善法
	直播栽培技術

《情報収集先の経営概要等》

大空町 (株)大地のMEGUMI 経験年数25年 (うち有機年数13年)

経営耕地面積 30 ha

かぼちゃ 27 ha (うち有機 27ha)

労働力 構成員 8人

有機JAS認定の取得状況 平成13年取得

問題点

育苗に手間がかかり、栽培面積が伸び悩んでいた

- 育苗管理の手間やハウスの容量などから、グループ内でのかぼちゃの栽培面積が増加しなかった。

対応

直播栽培を導入した

つぼ

- 移植栽培から直播栽培へ変更した。
- ・ は種時期 6月上旬 (6月10日頃～)
 - ・ 栽植密度 ベット幅 90cm (マルチ設置)、通路幅 240cm
株間75cm (マルチに穴をあける)
 - ・ は種量 420粒/10a
 - ・ は種作業 人力 (1穴1粒まき、は種深度 1cm)
 - ・ 土づくり ほ場への堆肥投入 (投入量: 毎年 2t/10a)
サブソイラー等による透・排水性の改善
 - ・ その他 補植用苗としては種量の5%を育苗トレイ (6cmポット) で準備

※ マルチの設置については「有機農業技術のつぼ(パートI)」掲載事例 (【No7】「作業性の高いマルチの導入で除草作業を効率化」) を参照のこと。



は種作業の様子

※ **対応技術活用上の注意点**

- ・ は種時期は、晩霜による霜害を避けるため、本地域では6月10日以降とした。
- ・ 発芽が良好な品種「くりりん」を導入したため、1粒まきでも欠株は非常に少なくなっている。

成 果

省力化が図られ、栽培面積が増加した

- 育苗作業がなくなり、農作業が省力化された。
- 栽培面積が、9 haから27 haに増加した。
(収量は、1,200kg/10aで変化なし。)

※ 当法人は、食育や消費者との交流なども積極的に行っており、農作業は地元小学校の食育学習にも活用されている。



食育授業風景（収穫作業）